

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	共和観光株式会社					
代表者名	氏名	江本 日東	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	〒390-0806 松本市女鳥羽2丁目1番2号					
主たる事業の分類	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業				
	中分類	80 娯楽業				
主たる事業の概要	パチンコホール					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2846	2770	3108	3023	2917
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5823	5648	6310	6162	5973
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	12		19	19	20
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	70		78	102	119

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

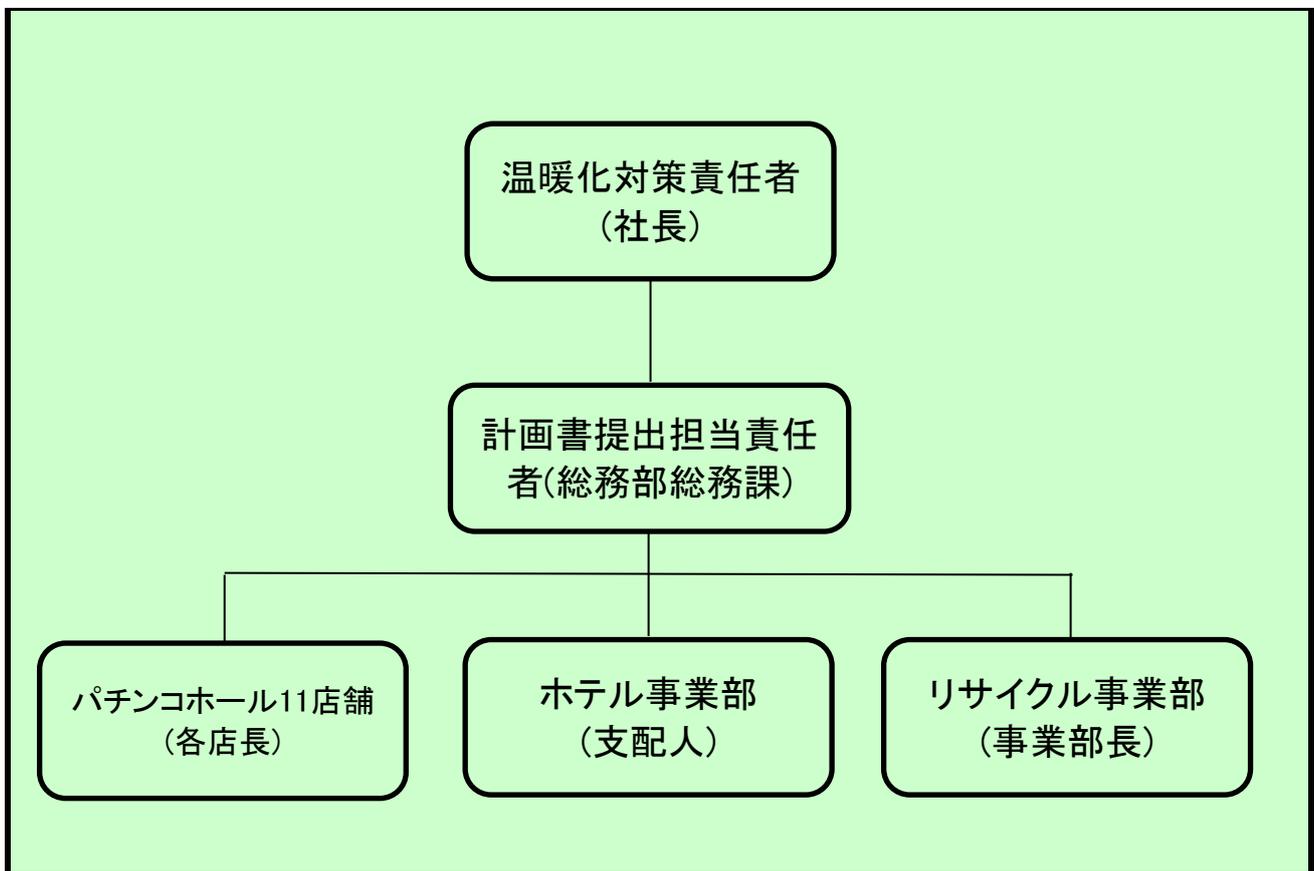
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	本社 総務課 TEL：0263-36-3122 営業時間：平日9：00～17：30
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギー使用量の大部分を電力が占めているため、照明のLED化、空調の温度管理の徹底をする。
環境保護意識向上の一環として各拠点定期的に周辺地域のゴミ拾いを行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

温暖化対策委員が各事業所へのヒアリング・指導(年2回)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,823	t-CO ₂	床面積	285.00	単位	100m ²	
28年度	調整後排出量	5,779	t-CO ₂	基準原単位	20.43	t-CO ₂ /100m ²		
目標年度	目標排出量	5,648	t-CO ₂	目標原単位	19.50	t-CO ₂ /100m ²		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	4.55	%		
目標設定に関する説明	過去3年間で店舗(11店舗)のLED対策が実施完了されましたので、第二次計画期間における対策として空調管理がメインの為、目標削減率が第一次計画期間より低下しました。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,310	t-CO ₂	床面積	285.00	単位	100m ²	
	調整後排出量	6,255	t-CO ₂	原単位	22.14	t-CO ₂ /100m ²		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	(8.37)	%	削減率	(8.38)	%		
排出量等の増減理由	パチンコホール販促等の付帯設備の電子化による電気量増加に加え、パチンコ・スロット台の大型化・高出力化で使用電力が増加したが、デマンド値による空調管理により、パチンコホールでは前年比3%の削減に成功したが、リサイクル事業部の増産・ホテル事業部のボイラーによるガス使用が増えたため、全体として昨年より排出量増加になってしまった。							
第二年度	排出量	6,162	t-CO ₂	床面積	285.00	単位	100m ²	
	調整後排出量	6,118	t-CO ₂	原単位	21.62	t-CO ₂ /100m ²		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	(5.83)	%	削減率	(5.83)	%		
排出量等の増減理由	アミューズメント事業では依然としてパチンコ・スロット台の大型化・高出力化が続いているが、2019年1月から営業時間の15分短縮により昨年度と比べ若干の減少がされている。リサイクル事業部は若干の減産による使用エネルギーの減少が排出量減少の要因と思われます。全体としてアミューズメント事業に占める割合が多いため前年度より減少した。							
第三年度	排出量	5,973	t-CO ₂	床面積	285.00	単位	100m ²	
	調整後排出量	5,921	t-CO ₂	原単位	20.96	t-CO ₂ /100m ²		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	(2.58)	%	削減率	(2.60)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	アミューズメント事業部にて店内に扇風機を設置、空気循環を改善し空調の効率化を行った。結果として昨年度に比べ減少に成功した。リサイクル事業部は減産の若干の解消により使用エネルギーが増加した。アミューズメント事業部の使用エネルギーの割合が大きいため全体として減少した。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	70	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量	70	t-CO ₂	削減率	0	%
31年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	78	t-CO ₂	削減率	-11.43	%
29年度						
排出量等の増減理由	車両の増加。加えてリサイクル事業部の増産により輸送量も増加したため。					
第二年度	排出量	102	t-CO ₂	削減率	-45.72	%
30年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	119	t-CO ₂	削減率	-70	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	130101 空調の基準温度設定を設ける	29	45	29	165
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光ソーラーパネル	k w	605	0	605	605	605

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	44		55	44	52
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	13	5,823	13	6,310	13	6,162	13	5,973
合計	13	5,823	13	6,310	13	6,162	13	5,973

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	3	4	4	4
電気自動車	1	0	0	0
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	4	4	4	4
自動車総数	12	19	19	20
次世代車導入割合	33.3	21.1	21.1	20

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率の把握 (マイカー通勤率84.89%)
公共交通機関の利用促進	ホテル事業部など駅周辺が職場の場合は公共交通機関の使用を奨励
来客者の交通対策	
物流の合理化	

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	エコアクション21(リサイクル事業部)	2010年 (2019年更新完了)
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし
第一年度実績	一部店舗にリサイクルステーションを設置
第二年度実績	一部店舗にリサイクルステーションを設置
第三年度実績	特になし

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	照明設備のLED化	1459
その他	アミューズメント店舗にてライトダウンキャンペーン参加	計測不可